

*Preparation for  
the midterm exam  
of Mr. Ohori*

## Introduction

・このシケプリは授業で読んだ文章を段落ごとに要約し、それぞれの段落での難しめの単語や重要そうな単語の意味を示して、大堀さんの解説したところも示しました。

・なのでそこまで役にたたないかもしれません。

・段落の番号のつけかたですが、インデントしているところはもちろん段落として数え、そのインデントしているかたまりの前にあるインデントしていないかたまりも段落として数えました。そここのところ注意してください。

・あと大堀さんの話によると単語の意味を英語で説明させるかもしれないから英英辞典も見とくといいよとのことだったので重要そうな単語には英英による定義も示しました。

・このシケプリは使うとしたら、自分で文章をまず読んでもらって、その後の理解の助けにする or 単語を調べてなかった！って場合に辞書を引く手間をはぶくために使ってください。

・テストは今週です。

☆みんなでがんばって乗り切って楽しい週末を！

## I Woman Talk Too Much (Janet Holmes)

### ◇Outline and words & phrases

#### Introduction

▶女性は男性よりもおしゃべりなのか？女性が男性よりもおしゃべりでうるさいということを示すことわざが世界中に多くある。

<b>lamb</b>	a young sheep(子羊)
<b>jutlandic</b>	ユトランドの
<b>goose(鵞)は geese</b>	ガチョウ

#### 1

▶実際、日本には女性がうるさいということを示すかのような漢字がある。一方で中国には女性の話が女性の武器だとすることわざがある。本当のところはどうなのだろうか？

<b>attribute</b>	to believe or say someone or something has a particular quality
<b>rusty</b>	さびた、へなへなになった
<b>edgewise</b>	刃を先に向けて、斜めに

Note:

\*Japanese character which consists of three instances of the character for the concept 'woman' and which translate as 'noisy'! = 「姦しい」はうるさい！って意味です。

\*Do men struggle to get a word in edgewise, as the stereotype suggests?

この文章の意味は「ステレオタイプが示すように、男性は会話に割って入る(言葉を無理矢理すきまのないようなところにさしこむ)のだろうか？」って感じ。get in-(-を中に入れる)の表現に注意。

-wise=-way (-に関して、-の点で、-的に)

c.f. otherwise, salarywise(給料の面で), saleswise(売り上げの面で), clockwise(時計回り)

#### Comic

▶これは妻がいなくなったことに夫が気づかず、耳が聞こえなくなったのかと思ったという話。要するに女性はうるさいということを知りたいみたい。

[The evidence]

2

▶しかし、実際には男性のほうが女性よりおしゃべりなのではないか。これはアメリカ人を対象とした研究によって示されている。

<b>Deborah James</b>	south & southern Africa の anthropology のスペシャリスト
<b>Janice Drakich</b>	sociology, anthropology の准教授

3

▶ニュージーランドにおけるテレビのインタビュワーを対象とした研究でも男性のほうが女性よりおしゃべりだという結果が得られている。男性インタビュワーは女性インタビュワーと同じ長さのトーキングタイムを与えられたが、結局全体のトーキングタイムの半分の長さしゃべり続けた。

<b>Margaret Franken</b>	謎の人物、誰？
-------------------------	---------

4

▶筆者自身も公共セミナーの議論における発言の数に注目して、似たような結果を得た。明らかにこれまで挙げた状況のなかでは女性は男性ほどおしゃべりではない。

5

▶他へ影響力を持つようなポジション(高給の管理職)に置かれたときでも女性は男性ほどしゃべらないようだ。男性はミーティングで威張った態度で多く話し、女性の言いたいことを代弁するなど、その場を支配した。

<b>patronize</b>	to talk to someone in a way which seems friendly but shows that you think they are not as intelligent or do not know as much as you(人に威張った(恩着せがましい)態度)
------------------	--

度をとる)

Note:

\*例として斜体で書かれている文章中の *and I think that about sums it up.* という文のなかの *that* はそれより前にある男性が横から割ってはいることを指し、*it* は漠然と状況を指すことに注意。

6

▶この男性がしゃべる時間を独占するというパターンは早期からすでに見られる。学校のクラスでも男の子がしゃべる時間を独占する。女性がおしゃべりだというのは偏見だと結論づけるべきだろう。

<b>recur</b>	If something especially something bad or unpleasant recurs, it happens again(再発する)
<b>garrulous</b>	always talking a lot=talkative(おしゃべりな)

[Looking for an explanation]

7

▶何事実がこうも都市伝説と違うのかということに関してはより注意深い考察が必要だ。この事実に関して生物学的な証拠はないので、おそらく社会的な要素が関わっているのだろう。

[What is the purpose of the talk?]

8

▶ひとつの手がかりとして、話すことは状況によって様々な役割を持つということがある。公共の場などで話すことは自分の立場を高めることにつながる。

<b>floor</b>	発言権
<b>get and hold the floor</b>	発言権を獲得し、保持する

9

▶学校の教室を対象とした研究では性別に関係なく社会的な立場や力が高いほど多く話すということが示されている。教室では先生が多くの時間話し続けるが、そのなかでも男の子は生徒が話す時間の多くを独占することでより高い立場の人に対して主張しているのかもしれない。

## Comic

▶先生が男の子の話ばかりを聞くと文句を言った女の子の母親が実際にその先生に会ってみると、その先生は自分よりも横からきた男の子の話優先したという話。

**dorky**

ばかな、役立たずの

## 10

▶フォーマルな会合やセミナーでの男性と女性の行動を見ると立場と話の関係性による説明がより確かなものとなる。男性はフォーマルな公共の場という状況では女性よりも立場と力を主張して多く話す。

**task-oriented**

やるが決まっている

**sceptical=skeptical**

tending to disagree with what other people tell you(懐疑的な、疑い深い)

## 11

▶対照的に私的な会話では話は対人関係的にかかわる役割を果たす。興味深いことにいくつかの研究によると私的な会話では男性と女性の話す量はほとんど同じという結果が得られた。女性はよりリラックスした状況で社会的関係をつくるような時に進んで話すように思われる。

## 12

▶この女性の話は社会的関係をつくり、維持する役割を果たすということは他の証拠によっても示されている。男女混合で議論をすると男性は主張をするような発言を多くし、女性は他と協調するような発言を多くする。

## 13

▶全体として女性は他と協調するような話をするが、過去の女性政治家などに見られるように例外もある。しかし、ごく最近まで女性は自分たちはフォーマルな公共の場で話すことに向いていないと思ってきたようだ。

**Benazir Bhutto**

パキスタンの社会民主主義の政治家、パキスタンの第11代首相

**Jenny Shipley**

ニュージーランドの第 36 代首相、ニュージーランド初の女性首相

14

▶ニュージーランドは女性のほうが男性より積極的に話す状況として、インタビューを受ける時というのが挙げられている。女性のほうがインタビューに協力して長い間進んで話をした。

**Miriam Meyerhoff**

Auckland univ(NZ)の言語学の教授

15

▶インタビューにおける私的ではあるが、フォーマルに近いような状況でも女性は男性よりも多く話した。この状況は地位を高くすることと関係がないので、女性は男性よりも協調的に話をすると説明できるだろう。

[Social confidence]

16

▶自分がよく知っていることに関する議論では人は進んで発言する。ある研究では特定の人にその後の議論の話題に関する知識を与えると、性別に関わらずその人はたくさん話したという結果が得られた。

17

▶筆者もセミナーの議論において、話題についてよく知っている女性が多く発言することを発見した。経済に関するセミナーで女性経済学者が多く発言し、そのセミナーは女性の発言数は男性を超えた数少ない例の一つとなったのだ。

18

▶他の研究は夫婦間の会話について調べた。従来の夫婦間では夫のほうが多く話すが、妻がフェミニストであると夫よりも多く話す傾向があると分かった。

**spouse**

配偶者

19

▶これら専門的知識を持つ立場、フェミニストの哲学は女性の社会的な自信を高めている可能性がある。そしてこの説明はこれまでに述べた女性のほうが多く話す状況にもあてはまる。

[Perception and implications]

20

▶社会的な自信によって社会的な状況で女性が積極的に話すということが説明されるなら、何故女の子は学校の教室で自信を持ってないのだろうか？16歳の女の子の証言によると、女の子が教室で自分の意見を述べると先生や他の男の子から自分を誇示していると思われたり、ひやかされたりするが、分からないふりをすると親切に対応されるとのことだ。

jeer

あざける、ひやかす

aggro

けんか、もめごと

21

▶教室でしゃべることはひけらかしとみなされるので女の子は目立たないようにしてきたのだ。

keep a low profile

目立たないようにする

22

▶研究によると先生は教室における男女の話す割合をしばしば意識できていない。これは男の子も同じで先生が男女が同じ割合で話すようにすると、先生が女の子をひいきしていると感じるようだ。

vociferously

騒々しく、声高に

23

▶セミナーやディベートなど公共の場という状況においても男女に平等の話す時間が与えられると、女性のほうが多く話していると知覚される。これは女性は黙っている女性よりも話すかどうかという基準で評価されるためだという。

**gauge**

評価する、判断する

24

▶つまりそもそも女性が話すこと自体、話し過ぎだと思われるのだ。これは常軌を逸しているようだが、以前までは男性の領域であったビジネスや専門職に女性が最近になって進出してきたことを考えれば、そのような状況で女性が話し過ぎだと思われるのにもうなずけるだろう。

**outrageous**

very shocking and extremely unfair or offensive(常軌を逸した、あきれほどの)

**precocious**

発達の早い、ませた

**inroad**

成果、進出

[Conclusion]

25

▶結論として、女性は男性より多くしゃべるのかということにかんしては「はい」か「いいえ」では答えられない。それは社会的な状況、話の種類、社会的な自信、話題へのなじみなど多くの要素に依るのだ。

26

▶一般的に男性は話すことが社会的な立場を持つ人の特権であったり、話すことが立場をあげることにつながるようなフォーマルな公共の場でより多く話すようだ。一方、女性は話すことが関係を保つための役割を果たすような状況や、社会的自信を感じられるような状況でより多く話すようだ。

**prerogative**

特権、優先権

27

▶最後に、そもそも話すことはよいことだとする前提を疑ってみてもいいだろう。実際に「雄弁は銀、沈黙は金」ということわざもある。しかし、西洋文化では雄弁であることは高く評価されることを忘れてはならない。だとすれば、発言権を持つことがなんらかの影響を持つことだと見なされる限り、男女どちらが多く話すのかということは議論の余地があるだろう。

## II Brains, Cognition, and the Evolution of Culture (R. I. M. Dunbar)

### ◇Outline and words & phrases

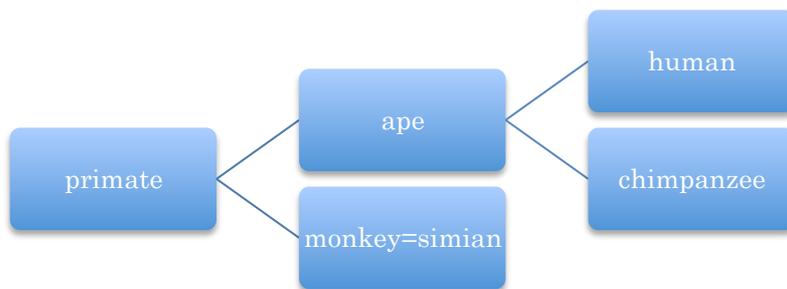
①

▶人間の多様な行動と文化の関係はチンパンジーや他の霊長類に比べて深い。

<b>case</b>	ここでは「議論を要する事柄」という感じ
<b>social learning</b>	学校などでではなく、人と人との関わりのなかで学んでいくこと

Note:

\*primate, monkey, ape, human, chimpanzee の関係は下のようになっているので注意。



②

▶この章では二つの問題を提起する。ひとつは人間は何によって文化的プロセスを広く利用することができるのか？もうひとつは何故人間はこの能力が発達したのか？

[Neural Substrates]

③

▶少なくとも霊長類においては脳の発達は社会的な必要性和関係があると結論しても問題ない。また新皮質の大きさは社会的集団の大きさと関係している。

<b>neural</b>	神経の
<b>substrate</b>	基質
<b>neocortex</b>	新皮質
<b>correlate</b>	を関連づける、相互関係を示す

<b>Barton</b>	British evolutionary biologist
<b>bear(p.p.は borne)</b>	～で運ばれた、～によって示された
<b>grooming</b>	毛繕い
<b>clique</b>	派閥、徒党
<b>Kudo</b>	誰？
<b>Lewis</b>	アメリカの遺伝学者(1918-2004)
<b>Pawlowshki</b>	正体不明

4

▶人間の脳の新皮質の大きさと集団の大きさの関係と他の霊長類のそれはスペクトルとして表すことのできる関係にある。

<b>project</b>	to calculate what something will be in the future, using the information you have now(を見積もる、算定する)
<b>value</b>	<i>technical</i> a mathematical quality shown by a letter of the alphabet or sign(値)
<b>clan</b>	一族、仲間
<b>!Kung San</b>	ブッシュマン族

5

▶より詳しく見ると、猿よりも類人猿のほうが集団を維持するのに多くの脳の力を必要とするように見える。→類人猿は猿とは違った社会的スタイルを用いるのでは？

<b>lineage</b>	血統、家系、子孫
<b>anatomical</b>	解剖の、解剖学の

Note:

\*この段落の二行目 The great apes appear to lie on a plane or grade separate from that of the monkeys. という文は「デカイ類人猿は猿とは新皮質の割合と集団の大きさの相関の仕方が違うようだ」という感じの意味。

Figure 8.1

▶脳における新皮質の割合と社会的集団の大きさの関係をプロットしたグラフ。これを見ると人間のほうがサルより社会集団を維持するのに多くの脳の力を必要とするように見える。

<b>anthropoid</b>	類人の
<b>hominoid</b>	ヒト上科の動物
<b>simian</b>	サル
<b>genus</b>	属、部類

6

▶新皮質はそれぞれの部分がそれぞれ違った働きをする。ならば、前頭部分より後ろ側の新皮質はかなり特定された役割を果たすことが分かっているので、前頭部分の新皮質を調べてみよう。

<b>intrinsically</b>	本質的に、本来
<b>posterior</b>	後ろの、後の

7

▶霊長類の脳については残念ながら第一視覚野と他の新皮質の部分を分けることしかできないが、それでも前頭部分が社会的集団との関係において重要な役割を果たしていることは分かる。

Note:

\*生物選択者は分かるかもしれないけど、第一視覚野は後頭部のほうにあるよ。

8

▶視覚に関係するのは視覚神経組織の束の断面積、すなわち網膜と視覚野をつなぐニューロンの数であって、第一視覚野は必要以上に大きくても視覚の鋭さは向上しない。ここにおいて重要なのは社会的な部分は視覚野ではないと分かったこと。

<b>level off</b>	(上がった後)横ばいになる、水平飛行に移る、
------------------	------------------------

	平らになる
<b>acuity</b>	鋭さ、激しさ
<b>cortical</b>	皮層の、皮質の
<b>optic</b>	目の、視力の
<b>tract</b>	器官系、広がり
<b>retina</b>	網膜
<b>cross-section</b>	断面積
<b>optic tract</b>	神経組織の束(目から脳の視覚野へと通じている)

Note:

\*この段落での議論は眼球、網膜の面積、optic tract は人間と他の類人猿はたいして変わらないという隠された前提のもとで進められている。

\*この段落の6行目 the visual system is subject to diminishing returns in terms of visual acuity as processing area increases. という文の意味は「視覚のシステムは、視覚情報を処理する領域が増えるにつれて鋭さがダウンする」という感じ。diminishing returns は経済学の「収穫逓減の法則」のこと。ある一定の農地で働く農業者の数が増えるほど、その1人あたりの収穫は小さくなるというやつです。

\*段落の下から二行目にある the incoming signals というのは「網膜から伝わってくる信号」のこと。

#### Figure 8.2

▶このグラフは第一視覚野とそれ以外の新皮質の割合をプロットしている。Simians と Hominoids ではふたつの関係はほぼ比例しているのに対し、Humans の場合は全体の新皮質の量に対して第一視覚野の割合が小さいことに注目。

#### Figure 8.3

▶視覚神経組織の束と第一視覚野の割合は比例関係に近い関係性があると分かる。

#### 9

▶類人猿はサルに比べて第一視覚野に視覚には使われていない余っている領域が多くあることが分かった。

<b>residual</b>	残余の、残りの
<b>exponential</b>	指数の、急上昇の

Note:

\*この段落の下から 3 行目の文章で This is in effect the spare capacity freed from the requirements of visual processing that can be used for other purposes. という文は「これは結果としては視覚に使わずともよく、他の目的(文化や社会など)のために使うことができる余っている容量だ」という感じ。other purposes が文化や社会のことを指すことを意識。

#### Figure 8.4

▶新皮質の割合に対する視覚野の余っている領域の割合の関係が示されている。人間は余っている領域が大きいことが分かる。

[Cognitive Mechanism]

#### 10

▶人間が基本的な認識能力において他の霊長類とどのように違うのかはあまりはっきりとしていない。人間の認識能力に関するヒントはその大きな脳にありそうだが、それに関する一つの答えが TOM(心の理論)である。

<b>deduce</b>	を推定する、を演繹する
<b>prosaic</b>	退屈な、つまらない
<b>confer</b>	を与える、を贈る

#### 11

▶TOM とは他人の考えていることを分かる能力のことである。TOM はうそをつくことやごっこ遊び、宗教の世界をつくる能力にも重要な役割を果たしている。

<b>encapsulate</b>	を包む、を要約する
--------------------	-----------

Note:

\*including lying and pretend play and.....に関して

lying が TOM と関係があるのはうそをつくには相手の考えていることが分からないといけ  
ないから。pretend play は「ごっこ遊び」。

12

▶TOM は先天的なものではなく後天的なものようだ。また、人間意外の種が TOM を持っ  
ているという証拠はなく、人間特有の能力のようだ。

ontogeny	個体発生論
equivocal	両義にとれる、あいまいな、はっきりしない

Note:

\*段落の 5 行目にでてくる belief-desire psychology というのは下のような意味みたいです。

Belief-Desire Psychology also known as “folk psychology” The idea is that ordinary people understand other ordinary people in terms of the assumption that other peoples’ behavior is the result of their cognitive insides – their psychology. The basic assumption is that other people have concepts (pretty much like the subject – the person who’s thinking about them). These concepts can be built up into beliefs and desires. Hence “belief-desire psychology.” The beliefs and desires interact with each other to produce intentions, and these intentions can lead to actions. So when we see someone act, we try to figure out what set of beliefs and desires were behind those actions. Sometimes we can just ask the person, but sometimes we can hypothesize about unknown beliefs and desires. This is a kind of folk-theory of human behavior. The important thing about it is that, according to the theory, our cognitive insides are made up of things like sentences (constituting what I believe and what I desire). These sentences interact in a sort of logical way, yielding implications and eventually actions.

13

▶ある研究によれば大人の人間は 5 階層の意志が含まれる文でもだいたい理解でき、6 階層でも  
りかいてできる人もいます。人間は TOM タイプの課題にその大きな脳を使っているようだ。

Figure 8.5

▶文の意志階層のレベルとそれを人がどれだけ理解したかを表したグラフ。人間はけっこう分か  
りにくい文も理解するみたい。

14

▶我々が5階層レベルのTOMの能力をどのように日常生活で使うかは不明だが、問題について深く考える能力は生活の様々な面、たとえば予定をたてるときなどに役立っている。

<b>mull</b>	を熟考する
<b>hands-on</b>	実地的な、実用向きの、現場での

[Why Did a Theory of Mind Evolve?]

15

▶こうした発達した認識能力は模倣と教育と密接に関係しているように思われる。

<b>conspicifc</b>	同種の
-------------------	-----

16

▶先生が生徒に教えるときは生徒が何故間違いを犯すのか分からないといけないので教育にはTOMが関わる。

17

▶人間以外の動物も子孫に特定の行動を教えるということが主張されているが、人間の教育はそのなかでも特別である。

18

▶模倣はよりTOMの観点から説明の難しい現象だ。人間の子供はTOMが発達する前から言語の習得などにおいて模倣をしている。子供は模倣マシンと言ってもいいだろう。

<b>inveterate</b>	根深い、頑固な、常習的な
-------------------	--------------

19

▶大人の人間における模倣を見てみると子供に比べてTOMによるところが大きい。特定の行動を取ることはある集団に所属していることの印となり、集団に所属することは人間にとって重要なことなので、大人はある行動を模倣するときそのことによる利益や目的を考え非常に慎重に行う。

<b>meme</b>	文化的遺伝子(ドーキンスの造語)
<b>plausible</b>	reasonable and likely to be true or successful(妥当な、納得のいく、もっともらしい)

Note:

\*imitation は infants の場合 mechanical だけど、adults の場合 evaluation/selective で social だってことが重要。

20

▶模倣という認識メカニズム自体は原始的だが、大人においてはかなり高度な TOM の能力が使われているのだ。

Note:

\*この段落の3行目の the use to which this phenomenon is put in adults.....の文には put to use という表現が使われていることに注意。

21

▶これまで行われてきた研究では人間の子供に見られる原始的な模倣のほうに注目してきたため、模倣は頭を使わなくてもできるとう面が強調されてきた。

<b>literature</b>	文献
<b>typify</b>	to be a typical example of something(～の典型となる、～を代表する)

22

▶一つの重要な点では、頭を使わない模倣を想定することは適切だ。文化の進化モデルの提唱者は従来のダーウィンによる自然淘汰説とは違ったものに注目しようとしてきたので、頭を使わない模倣によってミームが自然淘汰を受けずに進化するというのは興味深かったのだ。しかし、この見方は他の文化伝達のプロセスを見落としているかもしれない。

**prosaic**

退屈な、つまらない、平凡な

23

▶ここで浮かび上がってくるのは何が決定的な問題なのかということだ。

**namely**

すなわち、つまり

**rubric**

赤刷り、題名、指示

**trappings**

装飾、衣装

24

▶その答えは前に述べた集団成員であることを意識するという現象のなかにある。どのような集団のなかにも時代を問わず、自分ではコストを払うことなく共同体の利益だけを得るフリーライダーが存在するのだ。

**allude**

それとなく言う、ほのめかす

**naivete**

純真さ、素朴

**fixation**

固定、凝固

**intrusive**

押し入る、侵襲的な、押し付けがましい

**dispersion**

散布、ばらつき

25

▶フリーライダーの存在を考えると他人がどのように思っているか考える高度な認識能力は伝統的な社会であれ、産業革命後の社会であれ、生き残っていくために重要な能力であると言える。

**overriding**

最も重要な、最優先の

26

▶他から独立した、うそを見抜く能力のようなものがあるとはあまり思えないが、TOMに代表されるような認識処理能力を様々な場合に当てはめていくことで人間は経験則からうそを見抜く能力を獲得しているのではないだろうか。

<b>the cheat detection</b>	相手がインチキをどう見分けるか
<b>module</b>	それぞれのパーツ、単位、部分
<b>rules of thumb</b>	経験則

Note:

\*この段落の3行目の I am less convinced by the specifics of a cheat detection module than by the suggestion that deep cognitive processing abilities of the kind represented by TOM.....という文で筆者は「他から独立した、嘘を見抜くモジュールの存在は信じがたいが……」と一歩引いてから「TOMに関わる何かがあるよ……」と言って議論を進めています。

27

▶この観点から集団の印を示し、またそれを読み取ることはとても重要だ。集団の印によって集団は協力的なつながりとして効果的な役目を果たすことができているのだ。そしてこの集団の印というのはすべて模倣や社会的学習によって文化的な象徴として伝達されている。

<b>elaborate on-</b>	to give more details or new information about something(～について詳しく述べる)
<b>delineate</b>	to describe or draw something carefully so that people can understand it(の輪郭を描く、を線で描く)
<b>incur</b>	を負う、こうむる、を招く
<b>kin</b>	血縁、親族
<b>weld</b>	to join or unite people into a single strong group(を溶接する、を鍛錬する、統合する)

Note:

\*social badges の例として挙げられている origin stories は ex)古事記や出エジプトのような自分たちの部族の出自のストーリーを知っていることを指す。

\*この段落の最終行にある icons というのは（文化の中で）象徴的な意味合いをもつ絵姿、印のことです。

[Conclusions]

28

▶筆者は本論文で文化の発展とフリーライダーの問題の関係について提言しようとした。この解決法として筆者は他人の行動と意志を深く考えてみることを提唱した。しかしこれを可能にしたのは人間が脳の余っている領域を視覚以外の機能のために使えたからだったのかもしれないとして筆者は論を閉じる。

<b>quantum</b>	量子、量、特定量
<b>allocate</b>	をとっておく、を割り当てる、配分する